

「わが街アートカード」作品一覧

杉並をもっと知り、杉並の魅力を発信！

(イメージ・作品説明は番記対応)

平面作品

- 01：溪泉「板絵着色遅の井伝説図」
 - 02：宿場町の町並み「高井戸宿」
 - 03：小泉癸巳男『杉並善福寺の池』
 - 04：井伏鱒二『荻窪風土記』挿絵：熊谷守一
 - 05：矢嶋又次「荻窪の記憶画」
 - 06：村井かるた資料館
 - 07：棟方志功 亀井堂「瓦せんべい」包装紙
 - 08：鈴木信太郎「こけし屋」包装紙
 - 09：石山太柏
 - 10：寺山修司記念館シンボルマーク
 - 11：谷口高司（野鳥図鑑画家）
 - 12：永島 慎二（三上勉コレクション）
 - 13：奥村土牛（奥村土牛記念美術館）
 - 14：東郷青児（SOMPO 美術館）
 - 15：アール・ブリュット（あけぼの作業所）
 - 16：入江一子（シルクロード記念館）
- 他

立体作品

- 17：佐藤忠良『冬の像』（永福）
 - 18：ガンジー像（読書の森公園・荻窪）
 - 19：巨大「金灯籠」（蚕糸の森公園・東高円寺）
 - 20：知る区ロード「はだしのオアシス」（善福寺）
 - 21：長延寺「ぼた餅地藏」（和田）
 - 22：ガンダム像（上井草駅前）
 - 23：トンボのタイムカプセル（四宮小）
 - 24：ヒトガタ（杉一小）
 - 25：「夢をつかめ」他公園オブジェ（区内各所）
 - 26：手塚忠四郎「漆喰の龍」（和泉）
 - 27：「ピンクの象」「六地藏」「六童子」
 - 28：津田裕子・彫刻ほか（区役所周辺）
 - 29：オーロラの碑（荻窪）
- 他
- ※公園オブジェ、西荻関係、区役所周辺は変化をつけるために複数作品のカラーージュ。ただの一覧紹介ではなく見せ方に意図、狙いを意識したものにする。

建築作品

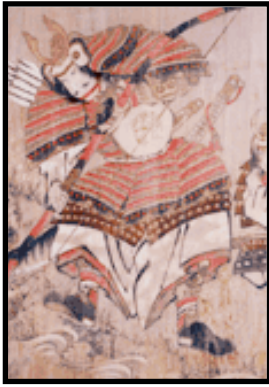
- 30：妙法寺「鉄門」（堀ノ内）
 - 31：ラピュタ（阿佐ヶ谷）
 - 32：西郊ロッキング（荻窪）
 - 33：東京女子大学本館（西荻）
 - 34：コンクリート梵鐘（中道寺・川南）
 - 35：Aさんの庭（阿佐谷北）
 - 36：ビストロOJI（上荻）
 - 37：カトリック下井草教会
 - 38：全面ガラス張りの家（高円寺）
 - 39：一櫺庵（西荻窪）
 - 40：ラポルタイズミ（和泉）
 - 41：高千穂学園武道場（西永福）
 - 42：荻外荘（荻窪）
- 他

自然物

- 43：菊被綿（大宮八幡宮）
 - 44：夫婦銀杏（大宮八幡宮）
 - 45：クロマツ（尾崎熊野神社・成田西）
 - 46：アンネのバラ（高井戸・区内各所）
 - 47：トトロの木（西荻窪）
 - 48：大滝（蚕糸の森公園・東高円寺）
 - 49：カワセミ（善福寺公園）
 - 50：オオタカ・剥製（善福寺川流域）
 - 51：野菜の宝船（杉並農業祭）
 - 52：原寺分橋下湧水（善福寺川・井荻）
 - 53：紅葉ライトアップ（大田黒公園・荻窪）
- 他

文化資源作品

- 54：阿波おどり「笠」もしくは「鉦(かね)」など（高円寺）
 - 55：七夕吹き流し（阿佐ヶ谷）
 - 56：チャンドラ・ボース像（和田）
 - 57：夜光塗料（根本特殊化学）
 - 58：平曲楽譜（金田一春彦）
 - 59：昆虫標本（昆虫学者・須田孫七）
 - 60：パイプオルガン（立教女学院）
 - 61：ふりかけ（丸美屋）
 - 62：江戸扇子（順扇堂）
 - 63：杉並区内遺跡・出土品
 - 64：卓球ラバー（タマス）
- ※遺跡出土品は土器や装飾品をカラーージュする。
- <補足候補>
- 65：釜寺（方南町）
 - 66：骨伝導イヤーマイクロホン（テムコ）
 - 67：岡本太郎の陶器作品 他



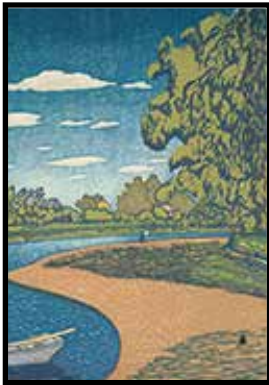
01 「板絵着色遅の井伝説図」
井草八幡宮（井草）

杉並区・指定文化財（信仰）。杉並区でしている文化財の中でも親しみやすい。天保十一年（1840）に上井草村の本橋氏が奉納したもの。源頼朝公が描かれている。



02 「宿場町の町並み」
高井戸宿

かつて甲州街道にあった上高井戸宿および下高井戸宿の2宿。半月交代で受け持った。内藤新宿ができると宿泊客が大きく減り、厳しい経営が続いた。2020年度に郷土博物館が手ぬぐいを作る予定。



03 小泉癸巳男
「杉並善福寺の池」（平面）

大正昭和時代前期の版画家。「昭和東京百図絵」という風景版画が魅力的。この作品は「杉並善福寺の池」（1936）江戸東京博物館収蔵。



04 井伏鱒二『荻窪風土記』
挿絵・熊谷守一

昭和2年に荻窪に移り住んだ井伏鱒二氏が綴った昭和初期（大震災からの激動の時代）の東京・杉並の原風景を感じることができる一冊『荻窪風土記』。挿絵：熊谷守一（くまがいもりかず）氏



05 矢嶋又次
「荻窪の記憶画」

「矢島足袋店」に生まれ育ち、荻窪の古老と呼ばれた矢嶋又次氏が70歳を過ぎてから記憶をもとにして描いた作品群。



06 村井かるた資料館
（永福）

村井省三氏の個人の収集によるもので、研究者や愛好家からの要請で昭和58年に自宅の一部を改造して作られた。日本初、世界で3番目？らしい……。2000点のコレクション。



07 棟方志功
「亀井堂」包装紙（下高井戸）

「亀の井 亀井堂本家」の瓦せんべいの包装紙は、親交のあった彫刻家・棟方志功氏の版画を基にデザインしたもの。神戸市が本店。東京杉並店は下高井戸に。



08 鈴木信太郎
「こけし屋」包装紙（西荻）

「こけし屋」の創業は昭和24年。地元住民から愛される洋菓子とフランス料理のお店。かつて松本清張氏が小説を執筆していた。包装紙は洋画家の鈴木信太郎氏によるもの。



09 石山太柏
「朝靄の荻窪田甫」（平面）

杉並の風景を描いた石山太白（いしやまたいはいく）氏は、大正～昭和期に活躍した日本画家。杉並区立郷土博物館分館では何度か企画展が行われている。



10 寺山修司シンボルマーク
（西永福・阿佐ヶ谷）

新婚当時は西永福に住んでいた寺山修司氏は、阿佐ヶ谷の河北総合病院で亡くなった。阿佐ヶ谷の街を舞台にした実験演劇「ノック」は大きな話題となった。これは寺山修司記念館シンボルマーク。



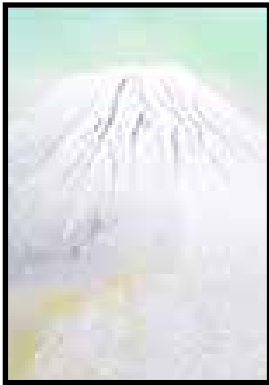
11 谷口高司 (善福寺)

鳥類イラストレーター。日本で唯一の野鳥図鑑画家でもある。タマゴ式鳥絵塾で有名。「野鳥を楽しむ会」主催。



12 永島 慎二 (阿佐ヶ谷)

「漫画家残酷物語」「花いちもんめ」などの名作を多数残した漫画家・永島慎二氏。永島作品コレクターである三上勉氏のコレクションより。



13 奥村土牛 (西永福)

日本画の頂点を極めた一人。永福町に居を構え、気取らない暮らしぶり、地元の方々にも愛された。101歳で大往生。



14 東郷青児 (久我山)

昭和の美人画家。柔らかな曲線と穏やかな色調によるロマンチックな作品は、一世を風靡した。久我山にあった邸宅は、久我山の文化的イメージを醸成した。



15 アール・ブリュット あけぼの作業所 (上井草)

杉並区内の障害者施設でもっともアートに力を入れている作業所。利用者による作品コラージュ。※アール・ブリュットとは、正規の芸術教育を受けていない人が生み出すアートのこと。



16 入江一子 (阿佐谷北)

作家のアトリエに訪れているような入江一子シルクロード記念館(美術館)では、自身の作品のみならず、シルクロードをテーマにした作品を展示。入江一子氏は101歳となっても描き続けている。



17 佐藤忠良の作品 『冬の像』(永福町駅)

改札前コンコースにある北海道の染織工芸「優佳良(ユウカラ)織」のマントを着た女性の立像。モデルは弟子の彫刻家・笹戸千津子氏。杉並区が購入し、京王電鉄の協力を得て展示している。



18 ガンジー像 (荻窪)

杉並区立読書の森公園に建立。杉並区とインドが日印友好協定を締結した記念にガンディー修養所再建トラストから贈られたもの。



19 巨大「金灯籠」 (東高円寺)

妙法寺への参拝者のために建てられた。青梅街道を左折する地点の目印。青銅製の常夜灯。



20 はだしのオアシス (善福寺)

「杉並知る区ロード」のルート上にある休憩所(オアシス)のひとつ。建築家・六角鬼丈氏が設計。触覚をテーマにした空間。



21 ぼた餅地藏 (和田)

長延寺にある牡丹（ぼた）餅地藏。『まんが日本昔ばなし』では「おけ屋とお地藏さま」というタイトルで紹介されている。江戸時代から子授け・子育ての信仰を集めている。



22 ガンダム像 (上井草)

西武鉄道新宿線の上井草駅前にある。2009年に上井草駅の発車メロディーがガンダムのになり、駅前にガンダムの銅像が建てられた。



23 トンボのタイムカプセル 四宮小（上井草）

田中孝和氏が四宮小 40周年記念時に寄贈。作品タイトルのとおり、作品内部には児童たちの作品が収められている。



24 ヒトガタ 杉一小（阿佐ヶ谷）

杉並第一小学校の壁面を彩っている現代アート風のヒトガタ。色サイズもさまざま、通行人の目を楽しませている。



25 公園オブジェ／志津雅美 (高円寺・清水) ほか



26 手塚忠四郎「漆喰の龍」 (和泉)

テツカ産業有限会社の屋上にある龍の彫刻。これは左官の道具である鏝を使って施す装飾「鏝絵」の名人であった、手塚忠四郎氏の作品。



27 ピンクの象、六地藏六童子 (西荻窪)

西荻窪の六地藏、せんとかんの作者・藪内左斗司氏（やぶうち さとし）作の六童子、ピンクの象など。公園オブジェ同様にコラージュで遊ぶ。



28 津田裕子ほか (杉並区役所周辺)

杉並区役所前にある津田裕子氏作『お誕生日おめでとう』。区役所まわりだけでも多数のパブリックアートがある。これは男の子がプレゼントしようと手に持っている林檎。津田氏の作品かコラージュで。





29 オーロラの碑 (荻窪)

杉並区立公民館の記憶をとどめる「オーロラ」の碑。ピンクの大理石を使用。佐藤忠良氏の推薦で瀧徹氏が制作。

30 妙法寺鉄門 (堀ノ内)

明治の建築家ジョサイア・コンドルが設計した鉄門。国指定重要文化財。



タテ型でも可



31 ラピュタ (阿佐ヶ谷)

映画館、劇場、レストランを併設する文化複合施設。独特な建物。



ヨコ型でも可

32 西郊ロッチング (荻窪)

1938年建築の洋風建築で、2001年の改修後はアパートとなっている。



タテ型でも可

33 東京女子大学本館 (西荻窪)

レーモンドの戦前の作品として知られる貴重な建築。緑の芝生に映える白亜の本館。



タテ型でも可



34 コンクリート製代替梵鐘 (荻窪・川南)

鐘楼を兼ねた楼門形式の山門が珍しい中道寺。戦時中、梵鐘は金属類回収令のため国へ献納された。その際に作られたコンクリート製の代替梵鐘が有名。



35 Aさんの庭 (阿佐ヶ谷)

かつて宮崎駿氏が「トトロが喜んで住みそうな家」として愛したモダンな建物。不審火で焼失後、宮崎氏がデザイン画を提供、2010年に「Aさんの庭」として誕生した。



36 ビストロOJI (おじ) (上荻)

末光績(すえみついさお)氏によって、自身の住宅として建てられた大正ロマンのあふれた建築。国の登録有形文化財(建造物)に登録した。縦長窓が特徴的デザイン。



37 カトリック下井草教会 (下井草)

高い塔が目をひくカトリック下井草教会。聖堂内に飾られたステンドグラスは非常に華やか。ローマのステンドグラス制作会社によるもの。



38 全面ガラス張りの家 (高円寺)

独自の思考で高い評価を得ている建築家の藤本壮介氏による全面ガラス張りの家「House NA」。これは模型。



39 一櫻庵 (いっしよあん) (西荻窪)

「いっしよあん」と読む。昭和初期に建てられた洋館付き和風住宅で、大きなケヤキの木が目印。



40 ラポルタイズミ (和泉)

日本のガウディと呼ばれる異色の建築家、梵寿綱(ぼんじゅこう)氏のマンション。入口の彫刻「美人図」は健康と繁栄の象徴。



41 高千穂学園武道場 (西永福)

ドイツ様式の建物で、床下には床が揺れるスプリングや響音効果を高める大きな甕が配置されている。杉並区指定有形文化財。



42 荻外荘 (荻窪)

築地本願寺などを設計した建築家、伊東忠太氏による設計。これは荻外荘創建時の平面図。



43 菊被綿 (大宮八幡宮)

平安時代の重陽の節句に合わせて行われていた行事「きくのきせわた」。花の露や香りを移し取った綿で身をなでると不老長寿が叶うといわれた。



44 夫婦銀杏 (大宮八幡宮)

大宮八幡宮のイチヨウは夫婦銀杏で、縁結びにご利益が。



銀杏の絨毯。
ヨコ型でも可



45 尾崎熊野神社クロマツ (成田西)

樹齢約 400 年といわれるクロマツの巨木。見事にナナメに伸びた樹高は約 30m を誇る。杉並区指定天然記念物。



46 アンネのバラ (区内各所)

高井戸中学校の生徒が『アンネの日記』の感想文を送り、お礼としてアンネの父親から贈られてきたバラ。初めは 3 株だったが、現在は区内各所に。



47 トトロの木 (西荻窪)

坂の上のけやき公園にある。幹まわりは杉並区内最大で、都内有数のスケール。



ヨコ型でも可



48 大滝 (東高円寺・蚕糸の森公園)

農林水産省の蚕糸試験場だった蚕糸の森公園のシンボルとなっている人工の大滝。幅 30 メートル、高さ 3.5 メートルほど。



49 カワセミ (善福寺公園・和田堀公園)

「幻の鳥」「空飛ぶ宝石」などと呼ばれている。キラキラ輝くコバルトブルーが特徴。



ヨコ型でも可



50 オオタカ (善福寺川)

善福寺川流域、ヒマラヤスギの樹林一帯に巣を作り繁殖している。画像は剥製。



ヨコ型でも可



51 野菜の宝船 (杉並区農業祭)

23区内でも農地面積が広いことで知られている杉並区。毎年秋の「杉並区農業祭」には豊作などを祈願する縁起物「宝船」が。すぎなみフェスタと同時開催。



52 原寺分橋下湧水 (井荻)

善福寺川・原寺分橋下(はらてらぶばしした)は、河床コンクリート部分から流出する湧水。



53 紅葉ライトアップ (大田黒公園・荻窪)

回遊式日本庭園の大田黒公園では、毎年紅葉の時期限定でライトアップを開催。



ヨコ型でも可



54 阿波おどり (高円寺)

毎年8月下旬に開催される都内最大阿波おどりイベント。「夜目遠目笠の内」という言葉にちなんで笠をメインにしたものを。他にも「鉦(かね)」など、関連した道具や楽器も面白い。



55 七夕まつり (阿佐ヶ谷)

カラフルな七夕の吹き流し。阿佐ヶ谷七夕はハリボテが有名だが、オーソドックスに。



ヨコ型でも可



56 チャンドラ・ボース (蓮光寺)

蓮光寺にはインドの自由の闘士で知られるチャンドラボースの霊が安置されている。インド人にとってかけがえのない場所。

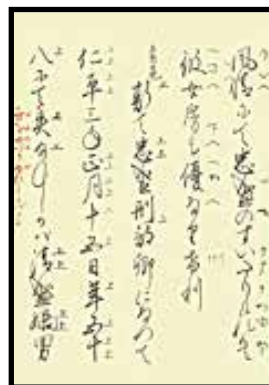


57 夜光塗料 (根本特殊化学)

蓄光顔料(夜光塗料)で知られる。世界の夜光時計のトップシェア。



ヨコ型でも可



58 平曲楽譜 (平家琵琶・金田一春彦)

『平家物語』の本文を琵琶の伴奏で語る平曲。金田一春彦氏によって残された平曲の楽譜。



59 昆虫標本 (須田孫七)

「日本のフェアブル」と呼ばれ須田孫七氏の昆虫標本。これは東京大学総合研究博物館に収録されているアオカナブンの標本。



60 パイプオルガン (立教女学院)

1998年に完成・奉獻されたテーラー&ブーディ社製パイプオルガン。立教女学院には大小4台のパイプオルガンがある。



61 ふりかけ (丸美屋)

1960年誕生。不動の人気を誇る庶民に愛されてきた「ふりかけ」のアップ。



ヨコ型でも可



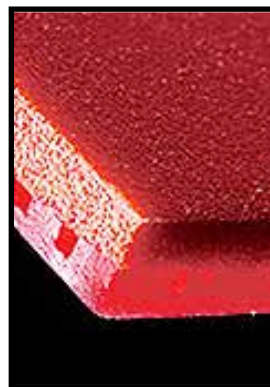
62 江戸扇子 (順扇堂)

京都で生まれた扇子が独自の発展をした江戸扇子。



63 杉並遺跡・出土品 (遺跡各所)

郷土博物館所蔵の区内遺跡から出土された土器などを組み合わせてコラージュする。



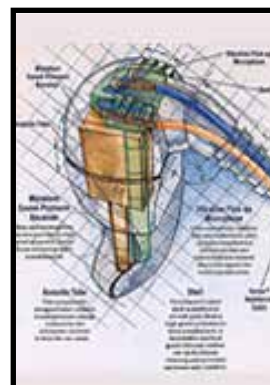
64 卓球ラバー (タマス)

世界トップシェアを誇る「バタフライ」ブランドで有名なタマス社のラバー。これは天然ゴムとスプリングスポンジを貼り合わせた断面。



65 釜寺 (方南町)

本堂の屋根にお釜が乗っている東運寺は「釜寺(かまでら)」と呼ばれ、江戸時代から親しまれている。お釜は、安寿と厨子王の伝説によるもの。



66 骨伝導イヤーマイクロホン (テムコジャパン)

骨伝導技術を使った通信機器を世界で初めて開発した。これは世界初の「骨伝導イヤーマイクロホン」の仕組み図。



67 岡本太郎の陶器作品 (郷土博物分館)

郷土博物館分館エントランスに置かれている誰でも自由に座れる岡本太郎氏の作品「座ることを拒否する椅子」(1963年・陶器)。

※65~67は補足&調整候補。
最終的な全体ラインナップやコラージュ等のバランスで追加・差し替えもあり。